2019 年 1 月号（通算第 190 号）　編集発行　浦和西高斜面林友の会

どんぐり

実生

〒330-0042　さいたま市浦和区木崎 3-1-1
埼玉県立浦和西高内　浦和西高斜面林友の会事務局　電話 048-831-4847
メール件名は「斜面林」と記入してください。
入会の申し込み、問い合わせメール　o-gami@jcom.home.ne.jp
『実生』投稿受付　ashinagako@gmail.com
ホームページ　http://un-shamenrin.wix.com/un-shamenrin

《12 月８日》

天　　気：晴れ
参加人数：　25 名

活動内容　①落ち葉を堆肥置き場に集める
②収穫祭

12 月で寒いですが、外の作業をするのにまだ苦ではありません

① 落ち葉を集めて堆肥置き場に入れる

斜面林には落葉広葉樹が生えているので、たくさんの落ち葉が地面を覆っています。それらを集めて堆肥にします。住宅地の我が家では、少しの落ち葉でも周りの家の迷惑にならないように集めてはゴミに出していますが、ここでは資源として活用します。そうかあ、これらは本当は資源になるんだなあとしみじみ思います。

② 収穫祭

毎年恒例の収穫祭。外の活動をしている間に、料理担当者が炊き込みご飯ととん汁を作ります。作るといっても、すでに中村さんをはじめご近所の方々が野菜も切ってくれているので当日の担当者はかなり楽をさせてもらっています。今日は生徒たちの期末考査とぶつかり、生徒は参加できませんでしたが、たまたま職員室にいた先生方が参加してくださり、交流も持てました。

みんなで
いただきまーす

[新人さんいらっしゃーい]
PTA 本部の岩松恵子さん
今月も PTA 本部から参加がありました。
毎月ありがとうございます。

――収穫祭とは――

毎年収穫祭とは何かも考えず参加してますが‥。
作物が無事に収穫できたことを祝うための農村で行われている祭祀行事です。その起源は古く、人類が狩猟から栽培に変わったあたりから始められてきたとされています。
10 月 31 日に行われるハロウィンも元々は秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す宗教的な行事だそうです。
神様への感謝もせず、
ただ美味しく食べているなんて‥
チコちゃんに叱られる！

［みぬま見聞館］

大宮南部浄化センターの中にあるので、この中に入っていいのか不安になりました。
見沼や地球の誕生、水の大切さをとても分かりやすく紹介していました。
外には自然庭園があり、虫や鳥が集まりやすい昔の見沼地域の環境を再現していました。
見沼は歴史的にも環境的にも貴重だと知ることができる施設です。

［おがキンちゃんのひとりごと］

見沼に復活した稲の『舟野』、皆さんもご存知かと思います。前年、会員の一人からその来歴を調べてくれと頼まれ、安請合いしたはいいが、まったく豪家の文献が無く、本当に往生しました。
何とかそれは“実利と見え”である、と結論し報告しました。農家にとって、稲わらは冬場の大切な現金稼ぎ、産業そのものでした。だから、不足分のワラは買って調達します。舟野は富の象徴と看板の役割があって、娘の嫁ぎ先を探す目印にもなっていました。
後で真偽の程は解りませんが、偶然手にしたＪＡ埼玉の情報誌『みらの』に見沼の舟野について、私の推論とほぼ同じ内容の説明書きがあり、私の推測がまんざらでも無いと安堵しました。
たまの宿題も勉強になりますね。（小川　均）

バードウォッチングもできます

木道もある自然豊かな庭園

［人口減少社会日本における人為環境の将来］No.8
山間部の採草地
肉牛や乳牛の主な飼料である牧草生産と若牛の放牧が、農家から離れた山間部の採草地の役割になる。暖温帯（例：阿蘇）では、数年分の早春の野焼きが森林へと遷移しないために必須である。冷温帯（例：北上山地、北海道）では、3～5 年毎の種子散布が飼料品質劣化を防ぐため必須である。和牛は在来種の在地の草本で十分だが、乳牛は外来種の飼料用草本が必要になる。
管理主体は国道県市町村、地域農協、農家になる。面積も様々、粗放的管理ため河川への土壌流出は著しく、ニホンジカ採食による幼獣死亡率激減でその全国的個体数急増の主要因。
山間部の採草地は畜産の基盤だが、温暖化による雨量増加のため採草地の劣化は避けられない。
～小荷田さんレポートを不定期で紹介していきます～

《2018 年度の浦和西高斜面林友の会作業は、基本第２土曜日 9:30～11:30 に行います》

２月９日（土）、３月９日（土）、４月 13 日（土）集合は地学教室です。